

# INFORMATION NOW

インフォメーション・ナウ



## 「ごみ出しのルールを守りましょう」

### 平成10年度集積所調査結果

市では、「ごみの減量や資源リサイクルを各地域の特色を生かして推進していくため、行政と地域とのパイプ役として「廃棄物減量等推進員」制度を実施しています。現在293名の推進員さんが、主に集積所の調査を通して各地域の特色に応じた啓発活動を行政と連携して行っています。今回は、平成10年度の集積所調査結果から、集積所の「ごみ出しの現状について考えてみましょう」。

#### 「ごみ出しのルール違反の特徴は？」

びんのふたを取っていない  
びんや缶の中身が入っていたり、洗っていない  
もやすごみに古紙・古布が混在している

集積所調査は、「もやすごみの日」「もやさないごみの日」「古紙・古布の日」「缶・びん・乾電池の日」それぞれの収集日に集積所の「ごみ出し状況」について、下表のとおり25項目を調査したものです。調査結果を見ると、ほとんどの項目で90%以上ルールが守られていることがわかりますが、その中で、ルールを守って出されている割合が最も低いのが「びんのふたを取っていない」「びんや缶の中身が入っていたり、洗っていない」「もやすごみに古紙・古布が混在している」の3項目でした。特に「びんのふたを取っていない」でルールが守られている率は50%に満たない状況です。

びんのふたがついたままですと、資源化の妨げになります。ドレッシングや麵つゆなど、ガラスびんとプラスチックの注ぎ口が一体になって、は

ずすことができない物はそのままでけっこうですが、その他のびんのふたは、はずしてもやさないごみに出してください。また、「もやすごみの日」の調査項目で、「もやすごみに古紙・古布が混在している」との報告も多く寄せられています。調査結果では、ルールが守られている率が74%、まだまだ、「もやすごみの中に「古紙・古布」が混入している割合が高く、リサイクルされず燃やされてしまう古紙・古布が多いことがわかります。

新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パック、着なくなった衣料など「古紙・古布」は大切な資源です。「古紙・古布の日」が地域の集積所回収に出して燃やさずリサイクルしましょう。

#### 調査結果を地域に生かして

7月には、各地区で推進員、清掃担当者、各地区自治会連合会長が集まり、調査結果を生かした啓発事業についての話し合いを開催しました。今後、ルール違反が多い「ごみ出し方」への注意や、資源の活用を皆さんに呼びかけるためのチラシを作成し、班回覧や個別配布をしていきます。

狭山市廃棄物減量等推進員集積所調査結果  
(市内全地区・平成10年度)

種類	項目	結果
もやすごみの日	古紙・古布が混在していない	74%
	もやさないごみが混在していない	92%
	缶・びん・電池が混在していない	94%
	粗大ごみが出ていない	97%
	集積できない物が出ていない	94%
	事業系ごみが出ていない	98%
	蛍光管・体温計などが混在していない	96%
	缶・びん・電池が混在していない	90%
	粗大ごみが出ていない	95%
	集積できない物が出ていない	93%
もやさないごみの日	事業系ごみが出ていない	99%
	古布が袋に入っている	97%
	古紙が品目ごとに縛ってある	95%
	出せない品物が出ていない	95%
	事業系の物が出ていない	99%
	びんのふたが取ってある	48%
	スプレー缶に穴があけてある	93%
	中身が入っていない・洗ってある	79%
	出せない缶・びんが出ていない	95%
	缶・びんの分別ができていない	94%
缶・びん・乾電池の日	電池が籠の中に入っていない	99%
	缶・びんが袋出しされていない	90%
	収集できない物が出ていない	93%
	事業系の物が出ていない	99%
	他所からの投棄物がない	97%

各項目のルールが守られている率を%で表したものを

問い合わせ「ごみ減量・資源リサイクル推進チーム」へ内線3631